

テーマ

中高生情報誌「めぐろう」

団体名

目黒区子育て支援部子育て支援課

目的

- ①中高生世代が編集や発行を通じて、自分たちの視点から目黒区の魅力や自分たちの世代が感じていることを発信すること
- ②編集の過程で様々な人と出会い、ものづくりを体験することで主体性や社会性を育むとともに、参加者同士が支え合う関係作りを進めること

発行時期

5号発行	平成25年4月
6号発行	平成26年4月予定

活動場所

目黒区内児童館・取材先

参加者

参加資格：目黒区在住・在学の中学生・高校生、目黒区の児童館を利用する中高生
6号編集員：中学生8名、高校生6名、OG高校生1名

内容

- (1) オリエンテーション
 - (2) ワークショップ：雑誌の作り方講座、写真撮影実技講習、プロの雑誌編集者の指導
 - (3) 企画：取り組みたいテーマについて、アイデアを膨らませる。
 - (3) 取材：依頼、インタビュー・原稿内容の確認
 - (4) 編集
 - (5) 発行（区内公私立中学校・高校、児童館、図書館、美術室に配布）
- ※月1回、企画・取材・編集会議開催

その他

中高生が一般的には経験することが難しい著名人やその道の先人、達人に取材を通して出会えることである。また取材に至る一喜一憂の中で折れそうになる気持ちを編集員相互に励まし合い、一人ひとりが自己肯定感を育む機会となることが、中高生の雑誌作りの魅力である。思春期の様々な出会いは、学校生活や日常生活では味わえないかけがえのない感動体験である。さらに、雑誌づくりという「ものづくり」の達成感を味わい、共同作業の楽しさを広く友人知人に伝え一人でも多くの中高生が雑誌作りに興味関心を寄せるように広報活動にも積極的に関わっている。

中高生参加状況

企画から取材、編集、原稿内容の確認にいたるまで、中高生編集員が担当。

中高生参加を促すポイントや工夫

- ・指導員は、3M（待つ・見守る・認める）の気持ちを忘れず、根気よくサポートする）
- ・区内公私立中・高等学校、児童館、図書館等へポスター掲示及びチラシ配布

事例資料 写真、印刷物等

3M 「待つ・見守る・認める」 の気持ちを大切に



国体ミニバレー取材の様子
(目黒区中央体育館)

日韓高校生交流取材の様子
(目黒区中央児童館)

